

全ト協

健診結果活用とSAS対策 8月から全国でセミナー

全日本トラック協会は、新型コロナウイルスの影響から延期していた今年度の「定期健康診断の有効活用と睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策セミナー」を8月から全国で開催する。

全ト協では事故防止の観点からドライバーらの定期健康診断は受診するだけでなく、健診結果のフォローが重要としてセミナーで解説している。また健診後の教育や健康支援に向けて「運輸ヘル

スケアナビシステム」を構築し、事業者に活用を促している。セミナーは、「ドライバーのSOS信号を見つけて健康経営を目指す」をテーマに、全ト協のSAS対策事業指定機関で

あるNPO法人ヘルスケアネットワーク(理事長・武田裕大阪大学名誉教授、OCHIS)が健康起因事故の予防対策の解説や、運輸ヘルスケアナビシステムの効果的な活用方法などを説明する。さらに今年度は、新型コロナウイルスなどの感染症予防にも焦点を当てるほか、経済産業省が進める「健康経営優良法人認定制度」についても解説する。

8月のセミナー開催予定は、6日〓熊本県トラック協会、26日〓富山県トラック協会、27日〓福岡県トラック協会、28日〓秋田県トラック協会。参加無料。申し込み・問い合わせはOCHIS ☎

06(6965)3666。